

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	鶴ヶ峰もえぎ本部（単位1）			
○保護者評価実施期間	2025 年 11 月 28 日		～	2025 年 12 月 8 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2025 年 11 月 28 日		～	2025 年 12 月 8 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	14
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年 12 月 10 日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用者の幅広い年齢層に合わせた活動を行っている。	・利用者の「好き」を大切に活動を組み込んでいる。 ・異年齢交流を通じて、社会性や協調性を育成。	・「ペア活動」「チーム対抗戦」など、年齢を超えた協力型プログラムを増やす。 ・タブレットを使った学習ゲームや動画制作活動で、幅広い年齢層が楽しめるコンテンツを提供。
2	・共有スペースがあり、施設以外にも活動スペースがある。（トランポリン、卓球）	・共有スペース利用時に、職員配置や危険箇所の確認を行い、安全な活動を確保。 ・時間割を作成し他施設との共有を図っている。 ・合同イベントの実施	・季節イベント（クリスマス会、夏祭り）を共有スペースで開催し、子どもたちに特別感を提供 ・活動前後のチェックリストで安全性を確保。
3	・活動がマンネリ化しないように毎月、色んな活動を取り入れている。	・定期的にアイデアを出す。職員間で新規活動のネタを収集。 ・利用者の「やってみたい活動」を募る	・高学年に司会・準備・振り返り係を任命し、異年齢協働を促進 ・以前行った活動のアンケートを実施し楽しかった活動を再度行う。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会など交流する機会が殆どない。	・日常業務が多く、保護者会の企画・準備に時間を割けない。 ・保護者の勤務時間や家庭の事情で、参加しやすい時間帯の設定が難しい。	・年間スケジュールに保護者会を組み込み、早めに告知。 ・保護者会の準備期間をスケジュールで確保する。
2	利用者の幅広い年齢層がいてまとまりづらいこともある。	・同じ活動でも年齢によって「簡単すぎる」「難しすぎる」ことがある。 ・低学年と高学年では遊びや学習のニーズが大きく異なる。	・活動を「難易度別」「役割分担型」に設定し、誰でも参加できるようにする。 ・活動後に「よかったこと」「次にやりたいこと」を子どもたちから聞き取り、改善に反映。
3	・職員の研修が少ない。	・日常業務が忙しく、研修に参加する余裕がない。 ・外部研修やオンライン研修の情報収集が十分でない。	・動画研修を導入し、隙間時間で学べる環境を整備。 ・法定研修＋スキルアップ研修を年間計画に組み込み、事前に日程を確保。 ・厚労省や福祉系団体が提供する無料・低価格の研修を活用。